

2023. 10. 7 sat 11. 26 sun

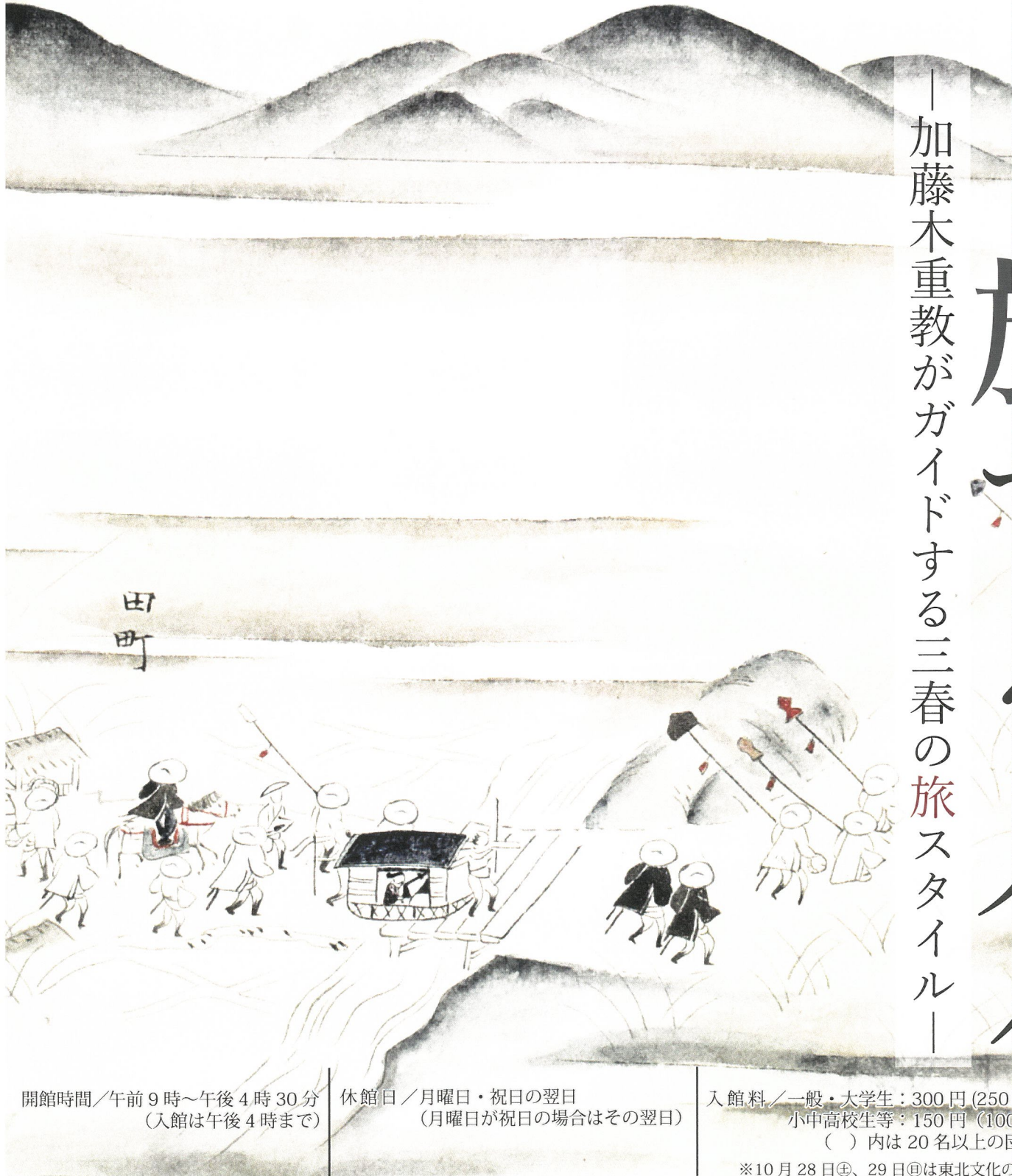
江戸～明治時代の三春の人々も、さまざまな理由から国内外を旅していました。
自分の人生を旅にもなぞらえた三春出身の電信技師・実業家である加藤木重教の
著作をもとに、三春の人々の旅をたどります。

令和
五年

秋季企画展

旅する人々

— 加藤木重教がガイドする三春の旅スタイル —



開館時間／午前9時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

休館日／月曜日・祝日の翌日
(月曜日が祝日の場合はその翌日)

入館料／一般・大学生：300円(250円)
小中高校生等：150円(100円)
()内は20名以上の団体

※10月28日㊥、29日㊦は東北文化の回により入館無料

三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館

〒963-7758 福島県田村郡三春町字桜谷5番地 TEL 0247-62-5263 FAX 0247-62-6953

<http://www.town.miharu.fukushima.jp/soshiki/19/>

「奥州諸街道絵図」より



測量用携行行李

この行李は、三春の和算家である助川音松が、測量に出かける際に使用していた、旅行用の行李です。水で内容物が濡れないように工夫されています。



道中双六

この絵双六は、三春から江戸までの道中の実際の宿場を、サイコロを振り、出た目によってたどるように描かれています。



道中弁当行李

旅行用のお弁当箱です。ちょうどおむすびが二つ入るぐらいの大きさです。



加藤木重教氏

(安政4年生～昭和15年没)

三春藩柔術師範・加藤木直親の次男として生まれました。明治4年に慶應義塾へ入学、この当時は三春から東京まで、ほぼ徒歩で旅しました。明治7年に電信修技校入り、電信技術者となり、明治8年から東北出張、白河、仙台などに駐在しています。明治22年にアメリカ留学。明治29年には「電友社」の経営を始め、電信電話・電気事業の発展に尽力しました。明治43年4月から明治44年6月にかけて、アメリカを再訪し、次いでヨーロッパなどを巡る旅をしました。

布哇群嶋誌 第壹巻加哇篇



矢立

携帯用の筆箱。細長い部分には筆を入れ、丸い部分には墨が入っています。



重教七十年の旅・前編

加藤木重教の前半生が詳しく書かれた自著。本来は、明治43年のアメリカ～ヨーロッパ～日本への世界一周旅行が後編になる予定でしたが、原稿が関東大震災で失われてしまいました。



大正5年に刊行された、最初期に発行されたハワイのガイドブックで、著者の一人は、三春からハワイに移住した三輪治家です。



三春町歴史民俗資料館・自由民権記念館

〒963-7758 福島県田村郡三春町字桜谷5番地

TEL 0247-62-5263 FAX 0247-62-6953

<http://www.town.miharu.fukushima.jp/soshiki/19/>

E-mail shiryokan@town.miharu.fukushima.jp

【交通】

●JR 磐越東線三春駅から徒歩約30分

●磐越自動車道船引三春・郡山東各ICから車で約10分

【駐車場】

資料館建物前の駐車場、または三春町役場周辺の公共施駐車場をご利用ください。